

平成21年12月18日

南砺市長 田中幹夫 様

福野夜高保存会
会長 上 農



「文久大行燈新調事業」に係る補助金要望について

貴職におかれましては、日頃から市政の発展に、昼夜を問わずご尽力されていることに関しまして、心より感謝申し上げます。

また、平素より福野夜高祭開催事業に対しまして、多大なるご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当保存会では、別紙のとおり文久大行燈新調事業を実施したいと考えております。市におかれましては市政発展のための財源確保等困難な折とは承知しておりますが、趣旨をご理解いただき、何卒ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【趣 旨】

福野地域の春宵を彩る福野神明社の春季大祭「福野夜高祭」は、慶安3年の古より360年余りの伝統を誇り、毎年5月には太鼓と笛の前触れも賑やかに大小あわせて20基余りの行燈がまちの若衆ら担ぎ手によって市街地を勇壮に練り回り、この南砺地方の春の風物詩として一大偉観を誇っているところです。

本祭は、その行燈の製作過程から祭開催までの一連の行程をまちの子供たちから大人までが一体となって取り組むことで祭文化が連綿と次世代に受け継がれてきており、平成16年7月には、その文化的価値が認められ、富山県無形民俗文化財として登録されているところです。

一方、近年の核家族化や少子化、市街地の空洞化にともなって行燈の担ぎ手が減少していること等により、夜高祭の存続が危惧される状況であったことから、平成12年度より、新たな事業を展開することで祭文化を再認識し、祭を継続することを目的として、まちの若衆たちが中心となって文久大行燈事業に取り組んでおります。本事業は、これまでの歴史の中でも一番の高さを誇った文久年間の行燈を現代に再現することで地域の一体感や結束力を醸成し、もって祭の継続や地域の活性化を推進するもので、平成16年からは夜高祭の前夜祭として位置付けています。本事業では、福野地域の枠を越えて地域外や女性にも門戸を開き、行燈製作過程から練り回しまで多くの方に参加いただいたほか、合唱団「夜高幻想」やヨサコイグループにもご参加いただき、裾野を広げることで祭りの文化的価値を再認識し、地域の活性化に努めているところです。また、平成20年には、当市において開催された（社）全日本菊花連盟全国大会南砺大会においては、会場である福野体育館に展示され、全国から集まった菊愛好家を出迎えたほか、平成21年には金沢市に出向き、南砺市への観光客の誘客にも努めているところです。

このように、文久大行燈事業を通じて祭文化の継承および地域の活性化に努めてきているところでありますが、近年、文久大行燈台の損傷が著しく、展示および練り回しが困難な状況となっています。文久大行燈事業を継続して実施するためには、早急な台等の修繕が必要な状況であります。しかしながら、修繕には多大な経費が必要となることから、祭関係者および関係団体等をはじめとして資金の拠出をお願いしているところですが、近年の経済の悪化等が影響し、資金調達には困難を極めているのが現状です。このまま新調にかかる資金が調達できない場合には、文久大行燈事業の存続が危惧され、ひいては本体である夜高祭文化存続への影響が懸念されます。地域が本来持つ結束力や団結力を組成し、守り伝えられてきた文化財である祭の維持や保護、また祭文化を後世に継承および発展させ、地域の活性化ひいては南砺市の活性化を推進する観点においても、文久大行燈事業を継続したいと考えております。

つきましては、何卒、趣旨をご理解いただき、文久大行燈新調事業について、格段のご支援とご協力を賜りますよう、つぎのとおり要望いたします。

【事業名】

文久大行燈新調事業

【事業内容】

文久大行燈の台、台棒、芯木等の新調

【実施時期】

平成22年度（単年度）

【総事業費】

5,000,000円

文久行燈 10 年の歩み

1 年目	平成 12 年 4 月 30 日～5 月 2 日 12 年 10 月	上町山蔵前にて展示 商工会館脇に展示（国体期間中）
2 年目	13 年 4 月 30 日～5 月 2 日	上町山蔵前にて展示
3 年目	14 年 3 月 23 日 14 年 4 月 30 日～5 月 2 日	伊勢神宮へ参拝・展示 猿ヶ辻公園にて展示
4 年目	15 年 4 月 30 日～5 月 2 日	猿ヶ辻公園にて展示
5 年目	16 年 4 月 30 日～5 月 2 日	福野駅前にて展示
6 年目	17 年 4 月 30 日～5 月 2 日	福野駅前にて展示・前夜祭にて練り廻し
7 年目	18 年 4 月 30 日～5 月 2 日	福野駅前にて展示・前夜祭にて練り廻し
8 年目	19 年 4 月 30 日～5 月 2 日	福野駅前にて展示・前夜祭にて練り廻し
9 年目	20 年 4 月 30 日～5 月 2 日 20 年 11 月 9 日～ 11 日	福野駅前にて展示・前夜祭にて練り廻し 体育館前にて展示（全国菊花大会）
10 年目	21 年 4 月 25 日 21 年 4 月 30 日～5 月 2 日 21 年 11 月 11 日（予定）	金沢広坂通りにて練り廻し（出向 P R 宣伝） 福野駅前にて展示・前夜祭にて練り廻し 富山市にて展示（商工会青年部全国大会）

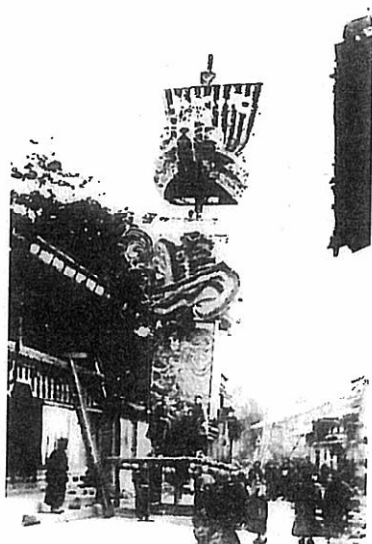


馬に御幣

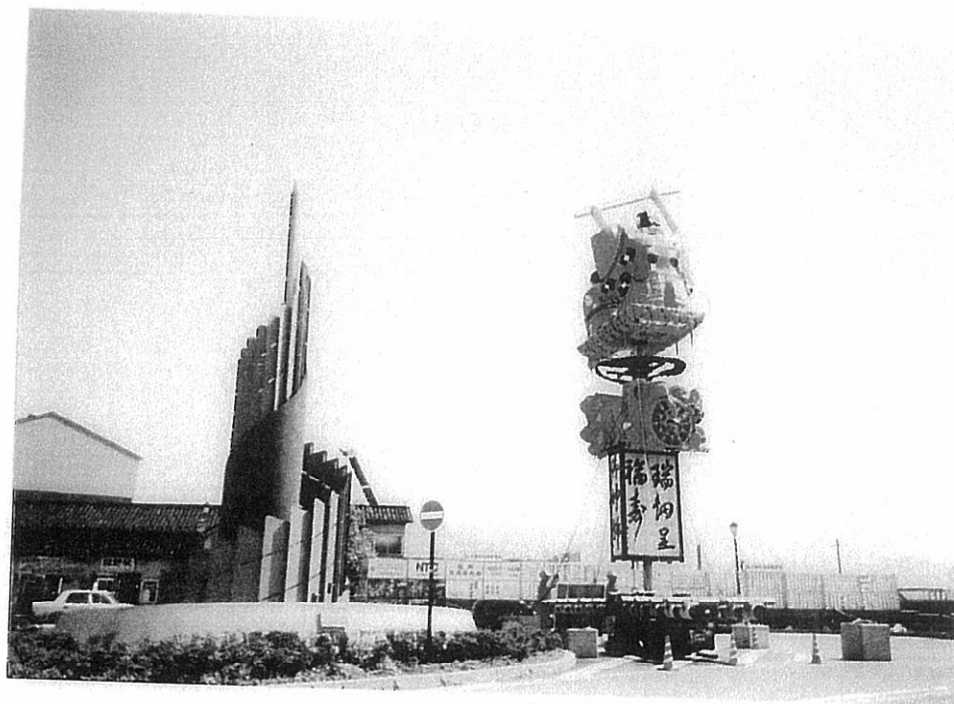
明治時代の行燈 (高さ 2m)



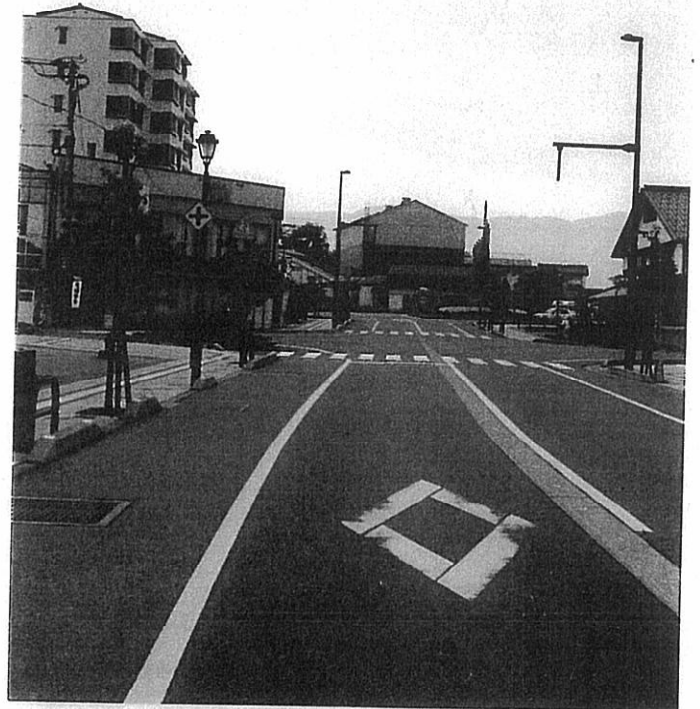
現在の行燈 (高さ 6.5 m)



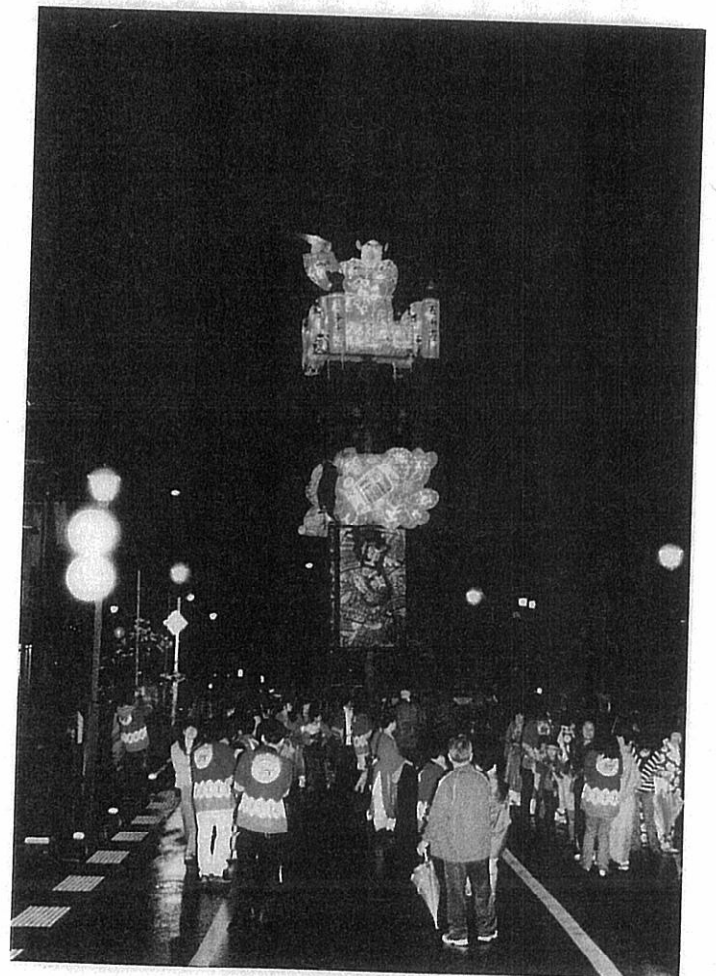
明治時代・七津屋の夜高行燈



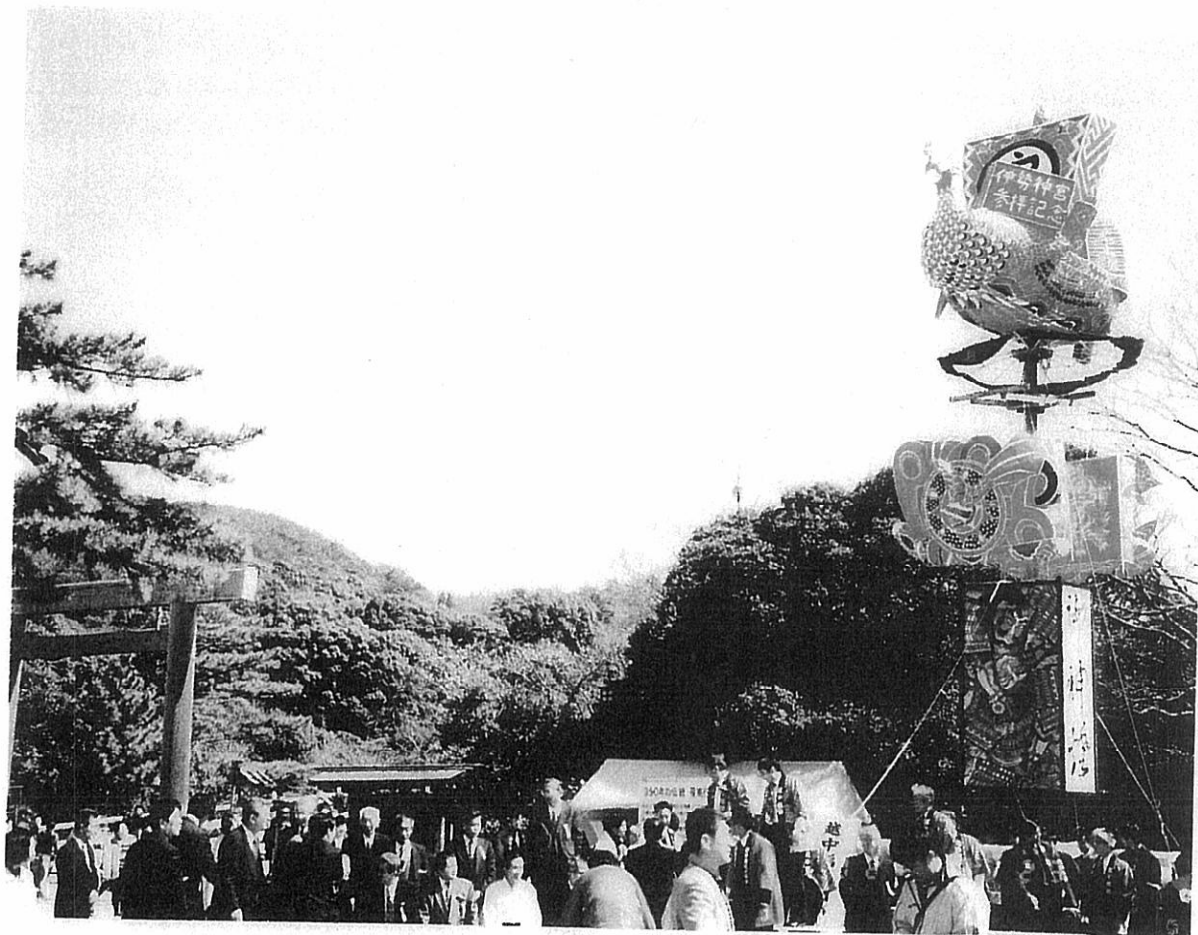
文政時代の行燈 (高さ 14.5 m) 駅前平家



通商の駅前通り（電線地中化による景観回復）



平成12年～15年 夜高祭期間中展示（上町通り・猿渡公園にて）
平成16年～21年 夜高祭期間中展示（上町通り・猿渡公園にて）

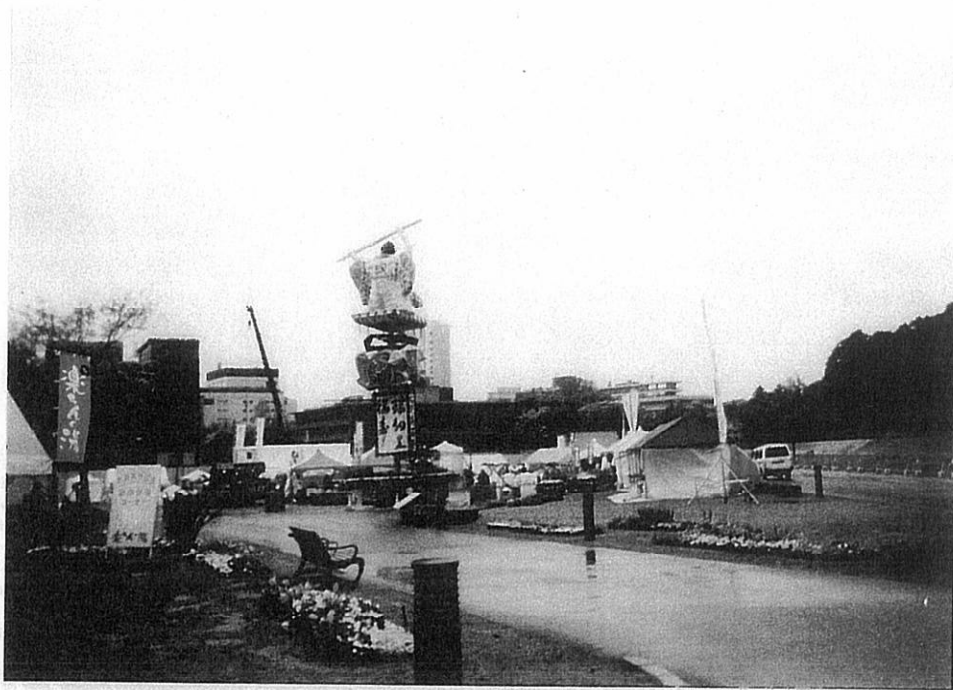


宇治橋大鳥居横に立つ文久の大灯籠

南無大菩薩 参拝 (平成14年5月27日) 参拝人数 3505名 (推定)



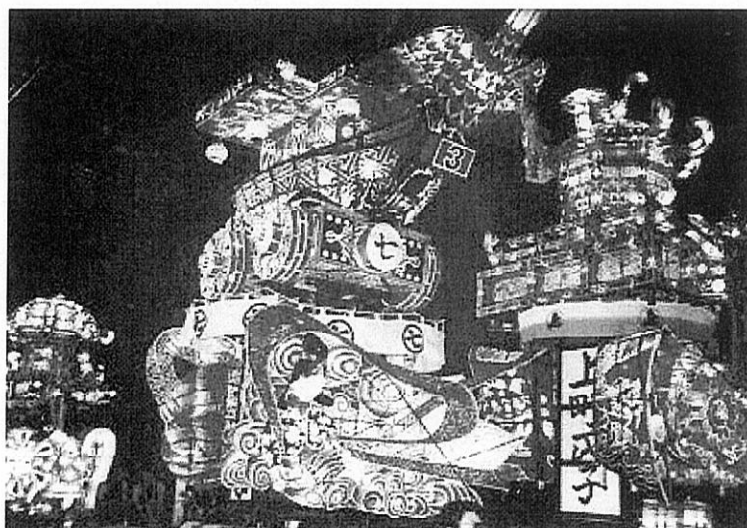
参 拝 へ



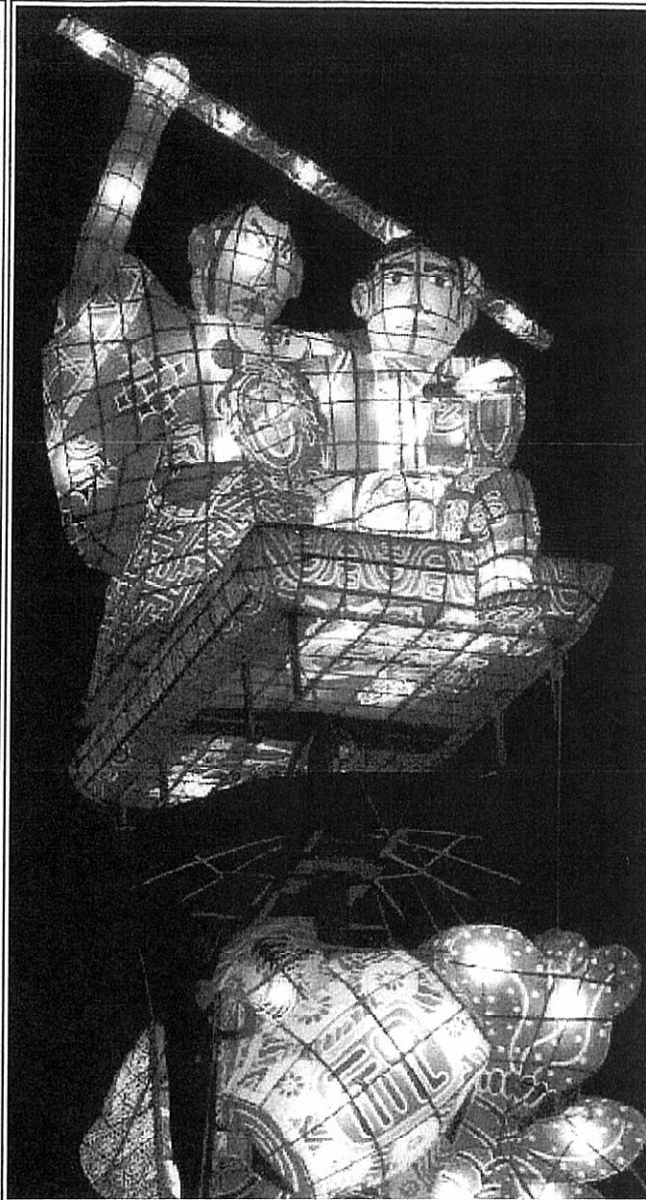
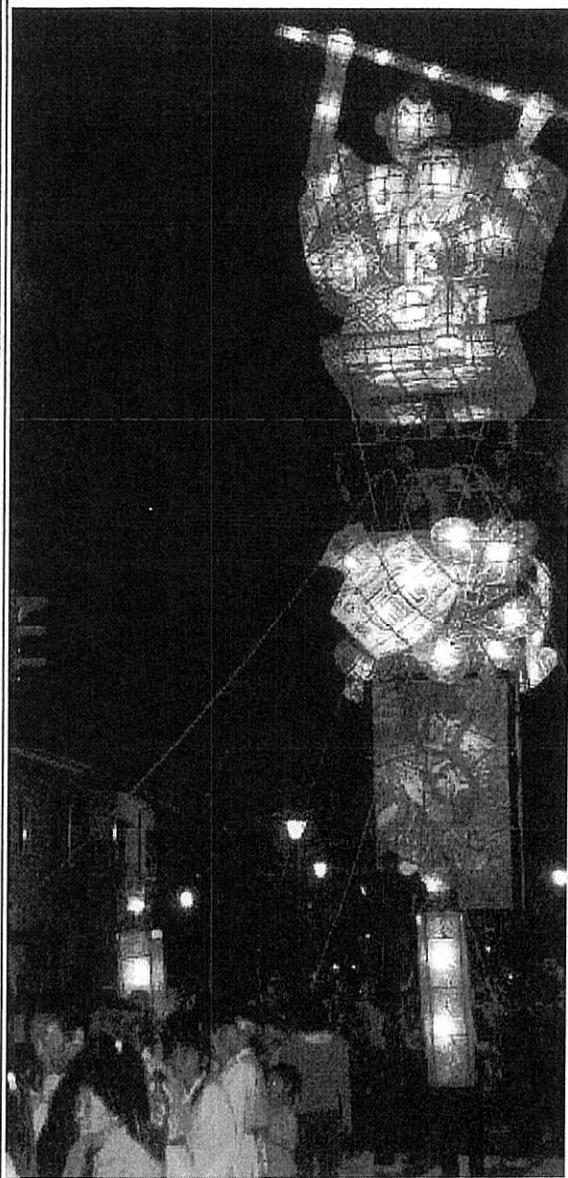
金沢の金沢まつり（平成14年12月）金沢まつり

指定文化財の詳細情報

文化財番号	0710009
指定種別	無形民俗
指定区分	県指定
名称	福野夜高祭
指定年月日	20040716
員数	1
所在の場所	南砺市福野
解説	福野の夜高祭は、東砺波郡福野町に鎮座する福野神明社の春の例祭に行われ、大小の行燈が町内を巡行する。5月1日と2日に、浦町、御蔵町、上町、新町、辰巳町、七津屋、横町の7町で製作された行燈が、夕方から順に福野神明社に参拝した後、笛と太鼓にあわせて歌を歌いながら町内を練り回る。2日の深夜に、各町の裁許によるシャンシャンとよばれる締め儀式が行われ、祭りの終了となる。この行事は、大型の行燈を曳き回す行事として本県を代表する祭りであり、近世後期から徐々に大型化してきた行燈製作の過程と巡行の様態の変遷を考える上で貴重である。また、砺波地方に広く分布する田祭りのヨータカとの関係を知る上でも重要な祭りである。
問い合わせ先	南砺市教育委員会 生涯学習課 (0766)
交通アクセス	JR城端線福野駅下車
公開日(休館日)	5月1・2日
料金	無料
駐車場	なし
トイレ	なし



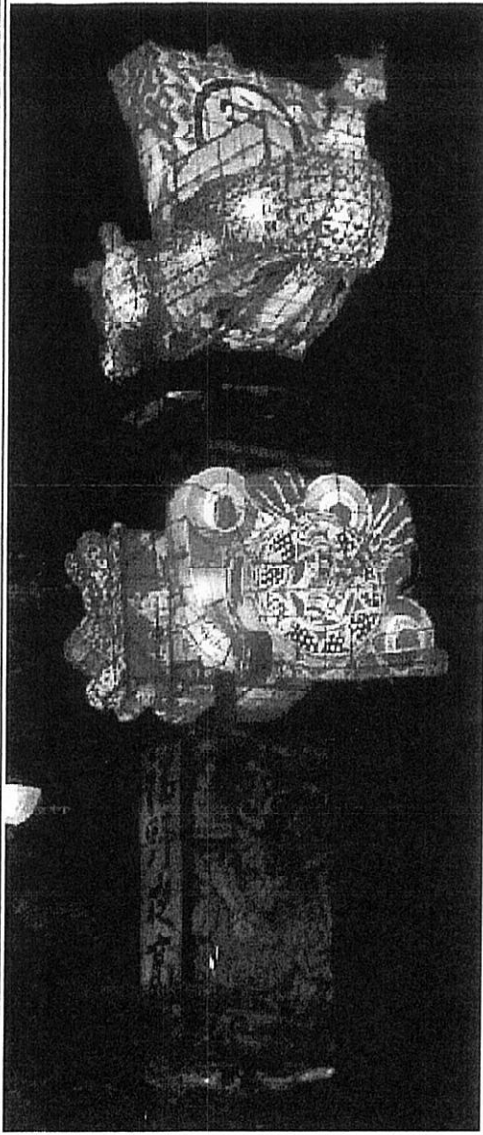
夜高前夜祭 19年4月30日撮影 ～文久の大打燈～



上段、安宅の関の弁慶と義経 19年撮影
中段、宝船、平成14年 2002年撮影
下段、明治時代の行燈、梅ヶ谷関
堀部さん所蔵史料

「文久の大打燈」について
平成12年に町内有志で、「一番高さがあったと言われる文久年間のあんどん」を、記録による高さ、田楽の寸法、明治時代の写真を参考に11メートル半の行燈を再現、上町駐車場に飾った。(山車は宝船、左の写真は2年後、一部変わっています)
「昔のあんどんはスマートだった。」との古老の話を現す。
「古老にきく」参照

連樂の大きさは今の倍以上(ヘリオスの連樂参照)、武者絵が吊物で隠れることなく、全体が見える、台・連樂・吊物・山車の間隔が大きい、眺めると首が痛くなります(近くで見るとは向いていない?)
今の行燈と比べて、感想はいかがですか



江戸後期、この高さをどのように組み立てた、立てたのだろうか、蠟燭の点火、取り替え、これを担ぎ上げて廻った古の人の逞しさに感心します。

下段の写真、連衆の下に人が写っています。道は悪く、担ぎ上げるために台、台棒は細い。

・平成12年10月 福野町国体事務局の依頼を受け福野夜高保存会が、2000年富山県国体の期間中に柴田屋JAとなみ野支店前に飾る。

・平成13年5月 上町駐車場に飾る。

・平成14年3月23日 夜高祭の350周年を記念し、福野夜高保存会、裁許会、一般町民など約130名が伊勢神宮へ崇敬参拝し、各町の田楽を神楽殿に奉納し、大打燈を大鳥居前に飾る。

350年記念事業 伊勢神宮参拝参照

・平成14年、15年4月30日より猿ヶ辻公園に飾る。

・平成16年4月30日より 夜高祭の前夜祭、の一環として、町内の超えて町外、女性にも製作参加を募り、福野駅前広場に飾る。夜高祭は男の祭だが、前夜祭では小学生の合唱「夜高幻想」、ヨサコイグループの踊りなど、行燈を出す町以外から多くの参加、披露される。

・平成17年4月30日、福野駅前通りの電柱の地中への埋設工事が完了し、文久の大打燈を「牛若丸」に作り替え、運行を行う。町内をはじめ、町外からも子供夜高太鼓が参加、通りの両側に並び太鼓が響く中をヨサコイ参加チームの多くの女性らがロープを曳く。

・平成18年4月30日、前年と同様

・平成19年4月30日、山車を作り替える。

弁慶と牛若丸

山車が大きくなった、吊物の左に人が立っています。

・平成20年4月30日、前年と同様

11月9日夜～11日昼、町民体育館でも全国菊花祭に合わせて展示



[次ページ](#) [夜高祭年表](#) [TOP](#) [ようこそ福野](#) [夜高祭へ](#)